

第64号  
平成29年8月10日  
発行  
上温品地区  
社会福祉協議会

本紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

## 5月度「いきいきサロン」は賀茂川荘に行きました



たのしい日帰り旅行でした♪

2017.5.19

5月の「いきいきサロン」は、日帰り旅行で賀茂川荘に行ってきました。

5月19日、39人が2台のマイクロバスに分乗して、9時に出発しました。

天気は晴れ、車窓の景色を楽しみながら途中で休憩を入れて、約1時間で到着しました。

いつもの日帰り旅行と同じように、お風呂と食事を楽しんだ後は、広い庭園を散策したり、館内の絵を鑑賞したりと自由時間を過ごしました。館内の施設も、広い庭も、手入れが行き届いていて、皆さんゆっくりとした時間を楽しんでおられました。

全員で記念の写真を撮って出発、4時ごろには、無事に帰ってきました。

## ◎通常総会開催される **スローガン 『みんなでつくる ささえあいのまち』**

平成29年度上温品地区社会福祉協議会通常総会が、5月14日（日）温品福祉センターで開催されました。役員・部会員66名の参加を得、今年度の事業計画と予算が決定いたしました。

上温品社協では平成29年1月より、住民の皆さんが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、新しい近隣ミニネットワーク活動「上温品見守りネットワーク」の運用を開始しました。また、一人暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯の方、障害のある方などが救急医療を必要とする場合のために、救急医療情報キットの配付を推進しています。

「上温品地区福祉のまちづくりプラン第3次5か年計画」は、最後の年5年目を迎えます。町内会長さんをはじめ、地域住民の皆さん諸団体の皆さんの協力を得て、計画の実現を目指します。

### 【重点目標】

- (1) 近隣ミニネットワーク活動の推進
- (2) ボランティア活動の推進
- (3) 児童青少年など健全育成のための活動への参加
- (4) 住民ふれあい活動の推進
- (5) 広報活動の充実
- (6) 活動体制の整備と効率的な運営

### 【 予 算 】

(収入の部)		(支出の部)	
	(円)		(円)
繰越金	451,639	事務費	120,500
会費	373,200	会議費	80,500
助成金	490,000	事業費	1,316,000
日赤・共同募金	17,000	負担金	34,000
事業費	678,000	雑費	29,500
雑収入	70	相談室維持管理費	100,000
寄付金	0	予備費	329,409
収入合計	2,009,909	支出合計	2,009,909



医療法人 たかまさ会

理事長 山崎 正志

URL <http://www.takamasa.or.jp>

内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・  
脳神経内科・放射線科・リハビリテーション科・歯科

一般療養棟・認知症専門棟・デイケア

介護老人保健施設

**山崎病院**

広島市東区上温品1丁目24-9

電話 (082) 280-1234 (代)

**ウェルフェア**

広島市東区上温品1丁目21-6

電話 (082) 280-3720



## 福祉部会・近隣ミニネットワーク会議開催

上温品社会福祉協議会は7月8日午前10時から、温品福祉センターにおいて今年度第1回目の会議を福祉部関係者、町内会長、来賓に東区山田厚生部長、東区社会福祉協議会佐藤事務局長らを招き開催しました。会議は大藤会長の挨拶から始まり、福祉部からパワーポイントを使った『上温品見守りネットワーク』の役割、活動等の説明がありました。続いてネットワークの現状と問題点を上温品見守りネットワーク事務局の福永さん（福木・温品地域包括支援センター）から報告を受けました。参加者からは見守り対象者になればどのような利点があるのかといった質問が出されるなど活発に会議が進みました。終わりに、社会福祉協議会より救急医療情報キットの配布について、広島市高齢者いきいき活動ポイント事業等の周知があり、会議を終えました。



開会挨拶をする大藤会長

### 「青少年に良い環境を与える運動」 東区推進大会

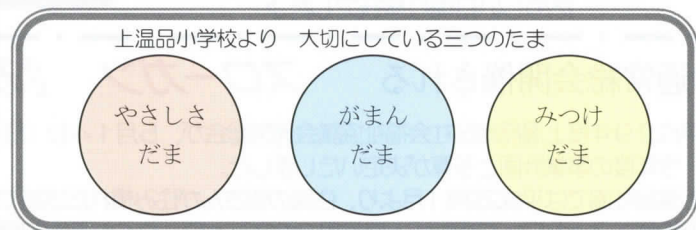
7月1日、東区民文化センターにおいて「青少年に良い環境を与える運動」東区推進大会が開催されました。

- 学校と連携しいじめを生まない風土を作る
- 家庭では家族の会話の場を増やしスマホ、インターネットの使用についても話し合う
- 地域での大人たちの見守り、声掛け等で安全な町を作る

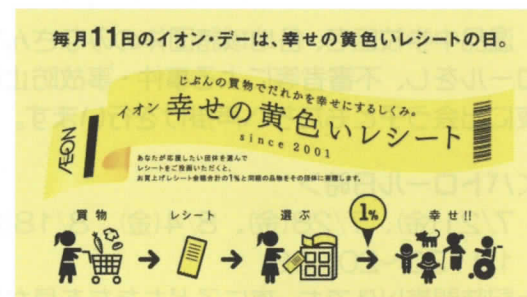
以上の三項目（要約）が宣言され、青少年の健全な成長のための環境を学校、家庭、地域で守ることを再確認した。

### ～児童問題交流会～

7月15日（土）温品福祉センターにおいて上温品地区社会福祉協議会、同青少年健全育成連絡協議会共催の児童問題交流会が開催されました。上温品小学校・温品中学校・安芸高等学校の校長先生や先生方に、学校の教育目標や、めざす子ども像、現状の課題について話していただきました。未来を担う子どもたちが安心して生活できる学校・地域をめざして、家庭・学校・地域が手をつなぎ協力していくことを確認しました。その後、14の団体から活動状況について報告がありました。



## 幸せの黄色いレシートにご協力ください！



『上温品地区社会福祉協議会』のBOX 設置店  
★マックスバリュ フォレオ広島東店  
★イオン 広島府中店

- ① 毎月11日！お買物をしたあと、精算時にレジで発行される黄色いレシートを受け取ります。（レシートが必要なお客さまには、各店のサービスカウンターで投函用のレシートを発行）
- ② 『上温品地区社会福祉協議会』のBOXに黄色いレシートを投函
- ③ 団体ごとに集計し、合計金額の1%相当の希望の品物を該当団体に贈呈。活動に役立てます。

### 孤独死早期発見で中国新聞温品販売所に感謝状

上温品地区社会福祉協議会は去る1月18日、孤独死を早期発見したことで中国新聞温品販売所（山内所長）に、大藤会長から感謝状を渡しました。

1月5日早朝、新聞配達員の方がいつもは吠えない犬が吠えること。牛乳が外に出たままになっていることを不審に感じ、販売所に戻り、所長に報告したことが発端です。所長はすぐに地域を受け持つ民生委員でもあり、社会福祉協議会の福祉部の田原美智子さんに連絡して、死後翌日の早期発見になったものです。



ありがとうございました

### 高齢者いきいき活動ポイント事業を知っていますか？

高齢者いきいき活動ポイント事業は、70歳以上（9月1日現在）の高齢者の社会参加の活動実績に基づき、高齢者にポイントを付与し、1年間貯めたポイント数に応じて、その高齢者に奨励金を支給する制度です。平成29年9月から開始する予定です。

ポイントの対象となる活動は①地域の支え手となる活動4 ②健康診査等の受診2 ③自らの健康づくり、介護予防に取り組む活動1（数字はポイント数）となっています。8月中にポイント手帳が対象者に送付されます。詳しくは7月15日発行の「市民と市政」に掲載されています。また今後テレビ、ラジオを通じて広く報道される予定です。

**おかもと整形外科**  
スポーツクリニック

不動産総合コンサルタント  
**シンアイ**  
不動産販売(株)  
東区上温品1丁目31-11  
TEL.082-280-1212

**藤三**



福祉用具  
住宅改修  
居宅介護支援  
訪問介護  
株式会社フロンティア  
広島営業所  
広島市南区仁保新町2-1-23  
仁保新ビル1階  
0120-294-518  
営業時間 9時～18時（月～土）



## 小学校の美化活動に園芸ボランティア活躍！

5・6年生の児童が活動している美化委員会では、社協の園芸ボランティアの方に協力していただいています。

年8回ある委員会活動日には、校内の花壇や玄関前のプランターに苗を植え替える作業をしています。また、園芸ボランティアの方は毎週木曜日には来校して、土作りや苗作りをしてくださっています。

6月23日の委員会のときは、ボランティアの方が挿し木して育ったポーチュラカの苗を植えました。花の色や植える間隔を考えながら、作業を進めました。そして、毎日の当番活動として委員会の児童が欠かさず水やりを行っています。

(上温品小学校 PTA より)



キレイに咲くといいね♪

## 『ふれあいパトロール』

温品中学校区ふれあい活動推進協議会

温品中学校区を、各地域諸団体のみなさんでパトロールをし、不審者等による事件・事故防止対策や夜に出会う子どもたちへ声掛けを行います。

<パトロール日時>

7/21(金)、7/28(金)、8/4(金)、8/18(金)

19:30~20:30

上記時間帯以外でも、夜に子どもたちを見かけましたら、声掛けと見守りをお願いします。

## 特定健康診断を受診しましょう！

<広島市からのお願い>

広島市は、全国平均より平均寿命は長いにもかかわらず、健康寿命が短い状況にあります。このような中、特定健康診断の受診率は、政令市や県内市町で最下位であり、被保険者の健康の保持増進、健康寿命の延伸等を図るためには、これまで以上に受診率向上に取り組んでいく必要があります。

市では29年度から「60歳以上の自己負担の無料化」、「みなし検診」を開始し受診勧奨を強化しています。

お問い合わせは

東保健センター健康長寿課

082-568-7729

## 編集後記

7月5日九州北部で豪雨災害が発生しました。今回のような集中豪雨は気象の状況で日本中どこでも発生すると新聞、テレビは伝えています。土砂に埋まった被災地を見ると誰でも「うちならどうなるじゃろうか?」と思います。被災地では助ける人、助けられる人の関係が発生します。地域で命綱の一本となるのが近所との結束、コミュニケーションです。このことは最近の災害の度に言われ、重要性が見直されつつあります。日頃目に見えなくても人の命を左右する大切なことがあります。見守りネットワークも命綱の一本です。九州の災害直後に開催された「近隣ミニネットワーク会議」に参加して改めて地域結束の必要を感じました。(杉田)

## 地域社会の発展と活性化に努めます



## 広島東部地区マツダOB会

(上温品・温品・馬木・福田)